

〈Z会協賛〉 高校生・大学生向け

明治大学公開講座

ワークショップ：詩の穴埋め遊び

砂浜にまどろむ春を掘りおこし
おまえはそれで髪を飾る おまえは笑う

こちらは大岡信の詩「春のために」の冒頭2行です。
この「春」を他のコトバに置き換えてみよう、
というのが今回のお題です。
例えば「冬」だったらどうだろう？
「蟹」だったらどうだろう？

詩はコトバとコトバの関係を楽しむものです。
受講生の皆様にも是非発表していただき、
講師からコメントをもらいましょう！

(ワークショップでの発表は当日の挙手制で、任意となっております)

参加費無料

3/29 (土) 13:30~15:00

Zoomミーティングによる
リアルタイム配信
(Zoom情報は申込後に案内します)



<https://academy.meiji.jp/course/detail/7303/>

* 講座趣旨 * コトバノチカラ

～「詩人・畠方ミセイ」と「詩人・菅啓次郎」によるコトバのワークショップ編～

みなさんは普段何気なく使っている「コトバ」について、考えたことはありますか？
コロナ禍を経てオンラインでのコミュニケーションが普及した一方、昔に比べて顔を合わせる機会が減っているかもしれません。だからこそコトバの持つ力が大切だと感じます。
そんなコトバの持つ力を最大限発揮できるのが「詩」です。心の中で感じたことをコトバに表す、単純であるがゆえになかなか難しい。そんな奥深さが詩の魅力です。
明治大学の著名な関係者として、日本を代表する詩人・大岡信があげられます。大岡信の詩の世界を通じて、詩の楽しさ、面白さを感じていただくとともに、改めて「コトバ」について考えてみませんか。
2024年度2回目となる今回の講座は、詩の解説とワークショップを行います。
ワークショップでは、任意で受講生の皆様からも発表を募りたいと考えております。

詳細は左下のURL・二次元バーコードよりHPをご確認ください。

* 講師 * ～現代を活躍する詩人～

Keijiro Suga

菅 啓次郎

(詩人・明治大学教授)

Misei Akegata

畠方 ミセイ

(詩人・明治大学修了生)



※講師のプロフィール詳細はHPをご参照ください。

* 大岡信氏について *

詩人、評論家。1931(昭和6)年静岡県三島市に歌人大岡博の長男として生まれ、中学時代から作歌・詩作を行う。東大国文科卒。読売新聞社外報部記者を経て、明治大学、東京芸術大学で教鞭を執る。1979年から朝日新聞に連載した「折々のうた」で菊池寛賞を受賞。1995(平成7)年恩賜賞、日本芸術院賞受賞。1996年朝日賞受賞。1997年文化功労者。2003年文化勲章受賞。2004年フランス政府よりレジオン・ドヌール勲章オフィシエ受賞。詩集『記憶と現在』『春、少女に』『透視図法-夏のための』『ぬばたまの夜、天の掃除機まわってくる』『鯨の会話体』など、評論『現代詩試論』『紀貫之』『うたげと孤心』『詩人 菅原道真 うつしの美学』『日本の詩歌 その骨組みと素肌』などのほか著書多数。